

2016.12月号

平成28年12月5日発行

発行元 NPO法人陽だまり
 発行元住所 〒739-0025
 東広島市西条中央7-17-35-101
 電話 082-422-4115
<http://www.npo-hidamari.or.jp>

放課後こどもくらぶ報告

陽だまりクラブ

訪問介護 / ケアマネジャー / こどもくらぶ
 事務局だより

放課後こどもくらぶが、次年度から市の補助事業に！

4年前にスタートした「放課後こどもくらぶ」が、平成29年度から東広島市の補助事業となることが決定しました！この4年間、公立の学童保育「いきいきこどもクラブ」に入れなかった多くの小学生たちを受け入れてきましたが、財政面では厳しい運営状況が続いていました。保護者にとっても決して安価ではない利用料金のご負担だったと思います。補助事業の一番のメリットは、保護者にとっては利用料金が下がり、陽だまりにとっては運営が安定することです。次年度からの仕組みについてご案内します。

対象児童は？

西条小、三ツ城小、寺西小に通う1年生～6年生です。その他の小学校に通う方はご相談ください。

利用要件は？

補助事業（通年プランA）で利用する場合は、保護者が就労しているなどの要件があります。要件に当てはまらない方も、制度外（通年プランB）でご利用いただけます。

	通年プランA	通年プランB	一時利用
定員	25名	3名	若干名
年会費	なし	5,000円	なし
利用料金	月～金・月額 8,000円		500円 / 時間
	月～土・月額 10,800円		おやつ 100円 / 回

サービス内容は？

これまでと変わりません。引き続き、多世代交流や体験活動をたくさん企画していきます。20時までの延長サービスや、小学校までのお迎え、塾・お稽古事への送迎、臨時休校日の利用、手作りおやつ提供も、これまで同様です。

申込方法は？

平成29年度の受付期間は、12月1日～1月14日です。詳しくは、陽だまりのホームページをご覧ください。「お申込みの手引き」がダウンロードできます。



ハロウィンパーティー

♪新常勤スタッフ紹介♪ はた ゆういち 秦 雄一（ゆうさん） 27歳

スタッフになった動機： 幼児教育を5年間経験しました。就学後の子どもたちの様子、活動に興味を持つと同時に、これからも同じような職種に就きたいと思い応募しました。

特技・趣味： 休日、時間のある時はドライブをしています。県内でしか運転していないので、県外にも出て観光などをしてみたいと思っています。

メッセージ： 実際に子育てをしたことはありませんが、子どもについての悩み・相談ごとなど、何でも聞いてください。少しでもサポートできたら嬉しいです。よろしく願いいたします。



陽だまりクラブ



陽だまりクラブは、利用もできるし活動もできる「お互い様の助けあい活動」です。今号では、活動と利用の両方を経験されたIさんに、体験談を語っていただきました。



— 陽だまりでどんな活動をされていたのですか。

車を運転して病院や買い物にお連れしたり、家中の掃除やお料理、庭の草取りです。

— 今回、どんなきっかけで陽だまりを利用することになったのですか。

ネコを飼っているんですが、私自身が入院することになってネコの世話ができないので、餌やりをお願いしたのです。

— 家を空けることに不安はなかったですか。

目茶目茶ありましたよ、今まで一晩も家を空けたことがなかったので。でも、活動者さんが入ることに不安はありませんでした。実際には、餌やりやゴミ出し、それから郵便物を病院に持ってきてもらいました。完璧にやらしてもらえました。ネコを置いていく不安は無くならないけれど、助かったし感謝しています。

(※ 本文と写真は関係ありません)

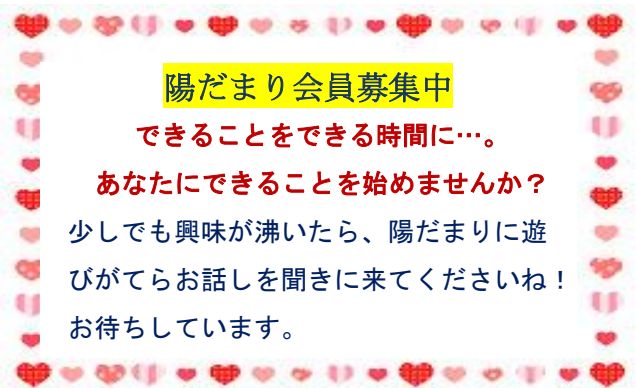


— もし陽だまりがなかったら、他に頼めるところはありましたか。

ない！！

— 今回初めて利用者になってみて、改めて思ったことはありますか。

私自身が活動していたから、利用者に回れることを知っていたんです。活動していなかったら知らなかった。それから、自分がどっちも経験したおかげで人に紹介できるようになった。今度は利用者の立場で話ができると思います。また、活動者さんが動きやすいように段取りをしておくことも大切だと分かりました。



陽だまり会員募集中

できることをできる時間に…。

あなたにできることを始めませんか？

少しでも興味が沸いたら、陽だまりに遊びがてらお話を聞きに来てくださいね！
お待ちしております。

(報告：山口百合)

新活動者紹介

①陽だまりに入ったきっかけ

②趣味・特技 ③一言



本城 清司 さん

- ① 広報東広島を見て。
- ② 野菜づくり。今は、白菜、ほうれん草、大根、玉ねぎを作っています。
- ③ 介護保険制度についてもっと多くの人に関心を持ってもらいたい。今、自分は動けるが、70才・80才になったときには助けが必要になってくると思う。お互いが助け・助けられるような、困ったときは陽だまりがあると見えるよう、気づいてもらえるように活動していきたい。

高橋 ジュニ さん

- ① 広報東広島を見て。
- ② おしゃべり
- ③ 助け合ってハッピー♪

貞兼 悦子 さん

- ① 広報東広島の広告で陽だまりを見て、私でもお役に立てることがあるかと思い、お電話しました。
- ② ガーデニング
- ③ 人の役に立てて喜んでもらえることが私の喜びですので、がんばります。

訪問介護



サービス向上を目指して、9月にアンケート調査を行いました。アンケートは、介護保険の利用者60人と障害者総合支援の利用者4人に配布し、39人から回答を頂きました。回答率は61%でした。ご回答いただいた皆さまからは、たくさんの感謝の言葉をいただき恐縮しております。一部ご紹介いたします。

ご本人さまから

- ☆ 何事も優しく笑顔です。お世話していただける日を楽しみに待っています。ありがとうございます。
- ☆ 一人暮らしで高齢の者にいろいろなご援助を頂き、有難く感謝でいっぱいでございます。今後ともよろしくをお願いします。

ご家族さまから

- ☆ みなさん大変優しくしていただき、有難く思っています。
- ☆ ヘルパーさんを利用することで、安心できる生活になったこと感謝しております。私の気づかないところを皆さんでフォローしてくださり、安心して外出できますし、何より母が元気になりました。ありがとうございます。
- ☆ 老夫婦が生かされているのは、陽だまりの皆さまのおかげと感謝しております。
なお、陽だまりクラブを併用されている方からは、「ヘルパーの仕事内容ではできないことを補っている」と回答があり、**陽だまりは生活全般を支える事業所であり続ける**必要性を感じました。皆さまの声に答えられるようスタッフ一同、今後も質の向上に努めたいと思います。
(報告：佐々木政美)

ケアマネジャー

「心が動けば体は動く」



ケアマネジャーになって間もない頃、ある理学療法士が「心が動けば体は動く」と話した言葉がとても印象的でした。

私が70代女性の利用者さんと出会ったのは、今から2年前。大腿骨を骨折され、退院を控えたある日のこと、病室のテーブルの上にはペン習字の練習をした紙が何枚も置いてあり、どれも美しく整った文字で、「退院したら習字をしたい」と話されました。聞けば、書道師範のお免状をお持ちとのこと。退院後はその言葉通り、毎日大好きな習字を思う存分書き、週2回のデイケアでは希望者数名と「ミニ書道教室」の時間を過ごすことが出来ました。

ところが1年も経たない内に自宅で転倒し、再び大腿骨骨折で入院。その間には2度の手術というハプニングがあり、今度は外出時に歩行器が必要となった状態で退院されました。しかし、この時も大好きな習字を心の支えにリハビリを頑張り、なんと半年後には目標だった「書道展へのお出かけ」が実現！！今年の10月に電車とタクシーを使って広島駅前の福屋までご主人と一緒に出掛けられたのです。それも「杖」を使って。普段の歩行状態からは考えられないことでした。

まさに「心が動けば体は動く」。この大冒険は、驚きとともに嬉しい報告でした。

(報告：石井弥生)



放課後こどもくらぶ

今回はイクメンパパにインタビュー♪ご協力くださったのは、2児のお父さん「Aパパさん」です。

- ① 子育てで一番楽しい時はどんな時ですか？
「楽しいというより、嬉しいと思うのは子どもが成長したなあ～と実感したときです。」
- ② 子育てで一番しんどい時はどんな時ですか？
「ストレスと思わないが、自分の時間がない…と思うことがあるくらいかな？」

③ しんどい時の気分転換の方法は？

「夫婦2人で話をしている時ですね。」



働きながらの子育ては家族の協力があってこそ！あつという間の1日ですが、毎日がんばっておられる保護者のお気持ちを聞き、そんな時もあったなあ～とほっこりしたり、大変だったなあ～と共感したり。みんなで応援できたら嬉しいです。

(報告：山本陽子)



事務局だより

子どもの居場所づくり

恒例となった小学生対象のこのイベント。今年の夏休みは、広島国際大学、広島大学、近畿大学のゼミ・サークルの企画協力で、午前中は宿題、午後は体験活動を行いました。今回は初めて「プレイマス（ゆめコッが原料の粘土）」での工作や科学実験が登場！高校生ボランティアも来てくれ、小学生にとっては特別な一日となりました。3日間で参加児童は延べ78人、ボランティアは延べ35人でした。次回は春休みに開催します。



宿題を教わる。ラッキー♪



ジュースで作ったかき氷

ドライバー養成講習

10月29・30日、今年度2回目の「福祉有償運送運転者講習会」を開催し、県内各地から15名の参加がありました。ある島しょ部の社協さんから伺ったお話ですが、過疎高齢化の進んだ島では運転協力者も高齢化しており、病気などで1年を通して活動できる人が少ないのだそうです。「陽だまりさんのおかげで、うちは移動サービスを続けることが出来る。他の所は受講料が高く予算が取れなくて、年2回開催してくれるようになって助かっています。」重く受け止めました。決して儲からず（笑）、大変だなと思うこともありますが、これが陽だまりらしい活動！がんばって続けて行こうと強く思いました。なお、今回もトヨタカローラ広島様とダスキンヘルスレント様に物品貸与でご協力いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



24時間テレビ募金活動

8月27日～28日は「24時間テレビ」の日。この春、福祉車両を寄贈していただいたので、少しでも恩返しをしようと陽だまりでも募金活動を行いました。集まった募金額は6,281円。9月2日にお届けしました。



フリースペース

放課後こどもくらぶを利用したことのあるお母さんの企画で、「心理カウンセラーあきちゃんと子育て茶話会」が行われました。趣味活動や仲間づくりなどで地域の方にお部屋を使ってもらえるのは本望です。場所をお探しの方、ぜひご相談ください。



ボランティア交流サミットに参加

11月6日、広島県社会福祉協議会主催のイベントに出展しました。会場は広島県庁駐車場で、福祉を学ぶ学生さんや地域活動を考えている方などが話を聴きに来られました。担当は市川、石井でした。



近畿大学で講演

11月30日、昨年につき、東広島市寄付講座「東広島学」において、「福祉の視点から見た東広島市」をテーマに代表の市川が講義を行いました。受講生は学生約50人、一般市民約10人でした。